

# 自らの進路を切り開こう

札幌市立藻岩中学校  
第3学年 進路係  
第58号  
2020年1月14日

## 3学期です！ 3年間の総まとめを！

今日から3学期です。みなさんは、どのように冬休みを過ごしましたか。

さて、この3学期は、中学校生活3年間の総まとめの時期になります。卒業までの約2か月間をどのように過ごすのかによって、みなさんの真価が問われることとなります。入試という大きな目標に臨もうとする学習面はもちろんのこと、その他の面でも、もう一息頑張ってみましょう。

一番大切な学習面ですが、3学期は入試に向けての追い込みの時期になります。一通りのことは冬休み中に終えているだろうと思いますが、最後まで油断は禁物です。ぎりぎりまで努力を続けてほしいものです。

また、生活面ではもう一度、気持ちを引き締め直してください。落ち着いた生活が大切なことは、わかりきっていると思います。さらに、落ち着いた雰囲気与生活できるかどうか、学習成績にも密接に関わってきます。加えて恐ろしいのがケガ。骨折なんかしてしまっ、入試で実力を発揮できなかつたら、泣くに泣けません。

3年生の担任の先生方には、ほとんど冬休みはありませんでした。みなさんも勉強一色の冬休みだったのでしょうが、先生方も進路関係の事務処理のために、家で、学校で、毎日仕事をしていました。みなさんの希望している進路先に提出する書類を丁寧に、それこそ一字一字に間違いがないかどうかを確認しながら作成していたのです。



そんな3年生の先生方が、この3学期にみなさんに望むことは、3年生の一番最後の学期だからこそ、3年間で培（つちか）ってきたことをフルに発揮してほしいということです。

『藻岩中学校の3年生として』生活できる最後の2か月間が、思い出に残るものとなるように期待しています。

## ☆願書などの扱いについて☆

私立受験では、1月の早い時期に受験がある人もいますので、すでに冬休み前に何度も願書を書いた人がいました。多くの人は本日公立の願書を提出し、これから私立高校願書を書きそろえていくのですが、公立・私立にかかわらず、これら願書は期日や書き方などが大変厳しくなっています。それは上級学校の入試だからというだけではなく、「社会のルールとして当たり前のこと」という意味も含まれています。皆さんは義務教育を終え、一段階高いレベルに進んでいくために、その第一歩として期日を守ったり、社会に通用するような正しい書き方や表現が求められているのです。

前述した冬休み中に願書を書いた人たちの中にも、見本や注意書きを渡していたのですが、いくつか間違いや書き忘れが見られました。間違いは訂正すればよい、という考え方もありますが、間違ったこと自体が問題になる場合があります。たとえば、「受験する学校名」「自分の名前」「保護者の名前」は間違ふべきではありません（これは提出する相手に大変失礼です）し、そんなに難しい書類でもありませんので、書き上げるのにはそれほど困難があるとは思えません。また、最初から間違いがないように集中して書けないと、この先いろいろ集中力が必要な場面に出会ったときに、大きな失敗につながりかねません。（社会に出れば、小さなミスにも自分に責任がかかってくるものです）。それに最終的に書いた本人の気持ちを伝えることにもなるのです。

期日や時間を意識するという事は、単に時間内に何かを行うということだけでなく、その時間をどのように過ごすか、ということも重要です。残された時間を大切に過ごし、何をすべきか、どのように行っていくかをしっかり意識してください。